27からのの

１

　(1)　これまでのにおけるのの

　　では、がいのあるがのでしたをることができるよう、でしたをでする「」や「いこ～る」のにしてをったり、がなの、のについて、やへし、へのを「」をしたりすることにより、にうがいのあるのをるをってきたところである。

　(2)　にうの

　　25４から「によるからのののにする（2450。「」という。）」がされ、、びは、にからをするようめるとともに、からのののをるための（「」という。）をするなど、にづくがめられることになったところである。

　　においても、にづく27におけるをめ、からのののをよりることとする。

２

は、のてのにするものとする。

３　にあたってのなえ

(1)　からののにたっては、をすることなく、またなりくのからするようめるものとする。

(2)　からのののは、やにおけるからのにする、における（ひとりの、のの、の、・・の、の）とのをるものとする。

(3)　からののをによりうには、のな、のやのにしつつ、からののにするようめるものとする。

(4)　からのにたっては、なりにい、のにするようめるものとする。

(5)　からのにたってのをめるには、によりしようとするをまえて、かつなものとするとともに、については、のをしてなものとなるようするものとする。

４　のとする

(1)　2２1にするにする

　のをにするための（17123。「」という。）511にする

　525にする

　5１にするのうちの事業に

　()　５７にする（のをにするためのにづくのの、びにする（18929け、171。「」という。）94にするをむ。）

　()　５13にする

　()　５14にする（203にするを。）

　(2)　222にするにする

がい（17３29、）によるをけている

　(3)　22３にするにする

　ののにする（35123。「」という。）441のにるにするの（）

　のをすべてたす（）

　()　22にする、４にする、69にするであるの（433にするにあっては、に0.5をじてた）をしたが５であること。

　(ｲ)　のをしたにめる()のしたが20であること。

()　()のしたにめる23にする、４にするは69にするのが30であること。

　(4)　３にするにする

　74の２3１にする

　74の３にする

(5)　をするをうとして、がけるもの

　がい（19115）のをける（、いこ～る）

　をする

５　27の

263までの（18,000）をまえ、２とする。

６　のにおけるな

(1)　における

４のがなやについて、がにおいてなをまえてすることをにする。このうち、（４９）がとなるについては、・（20３28、。）48（、は）、91は、167の２１３にするによるをすること。

(2)　がい（がい）における

　　からのをするため、のようなをにう。

　のにすること

のをとするからの（26115、がい）をし、からのをするためのをう。

　　にすること

のとなる４のがなやについて、４(5)との、からのにする（26115、がい）にづき、にを・し、にしてをう。

　のにすること

からされるやのやの、のをるため、のやのによりをする。

(3)

　　　のに、からののをする。

　　27のについて（273）

　　26」（2725）

７　びの

(1)　については、によりする。のしをったもとする。

(2)　27のについては、のできるだけいにをりまとめ、によりする。